

[所 感]

長崎市議会議員 福島 満徳

まずもって、福州市の私たちに対する歓迎ぶりに感謝申し上げたい。

視察の際、どこに移動するにあたって、福州市専用車でノンストップ通行であり、国賓級のもてなしを受けた。

8月23日の福州市表敬においては、蘇福州市長はもとより、袁共産党福州市委員会書記が対応されたのは、如何に長崎市に対する思い入れが強いかということを感じさせられた。引き続きの歓迎レセプションが行われ、相互交流を再確認することができた。

私は、まちづくりコースに参加しましたが、定住人口683万人、すべての面で計画規模の壮大さに驚かされるばかりであった。例えば、地下鉄建設については、総延長184kmである。また、まちづくりの「三坊七巷」復元についても、百年の計ではないかと思われた。

また、長崎市と福州市において、「水道」及び「水産」分野での積極的な交流をしているが、両分野における両市の深いかかわりを再認識させられるとともに、長崎市の水道技術、水産の養殖技術について福州市が非常に評価していることを感じた。特に強調されていたのは、福州市の水道水の質がよいのは、長崎市のおかげであるということであった。

上海万博については、「孫文と梅屋庄吉展」の視察をしましたが、長崎出身の人が新しい中国づくりに多大な貢献をしたことを改めて認識させられた。

天候にも恵まれ、非常に有意義な「友好都市30周年記念視察」だったと思います。